

CN

CampusNOW

発行/鶴見大学
鶴見大学短期大学部
編集/総務課
〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3
<http://www.tsurumi-u.ac.jp>

No.
83
2016.5.19

学校法人 総持学園
鶴見大学

大学院 歯学研究科(博士課程) 歯学専攻
文学研究科(博士前期・後期課程)
日本文学専攻・英米文学専攻・文化財学専攻
歯学部 歯学科
文学部 日本文学科・英語英米文学科・
文化財学科・ドキュメンテーション学科

鶴見大学短期大学部

保育科
歯科衛生科
専攻科 保育専攻・福祉専攻

鶴見大学附属中学校・高等学校

鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園

CONTENTS

特集

鶴見大学なんでもガイド

COME ON, NEWFACE!
新入生歓迎オリエンテーション

Welcome! 留学生

学生ボランティア活動
子供たちの笑顔が「継続」する原動力
～春季活動報告、そして 新入生へのメッセージ～

研究室探訪
歯学部病理学講座 斎藤一郎教授

就職EXPRESS
就職活動年間スケジュール

学内施設の情報から
大学周辺の
おすすめなお店まで
教員・学生リポーターが
まるごと教えます。

特集

鶴見大学 なんでも ガイド

学内施設の情報から
大学周辺のおすすめなお店まで
教員・学生リポーターが
まるごと教えます。

外国の豪華客船が入りし、世界に開かれた国際都市
ヨコハマ。横浜市中心部からほど近い曹洞宗の大本山總
持寺境内の深い緑の中に“学びのオアシス”があります。

JR鶴見駅から徒歩5分。繁華街のすぐそばなのに、
森閑として、落ち着いた教育環境。長い歴史と伝統を誇
る、わが鶴見大学です。

蔵書80万冊、全国でもトップクラスの大学図書館や
学生の臨床実習に欠かせない歯学部附属病院、そして
一歩キャンパスの外に出れば、安くておいしい飲食店な
どが一杯。学内のお得な情報から大学周辺のおすすめ
ショップまで、教員と学生がリポーターとなり、まるご
と教えます。



歯学部附属病院



地域に開かれ、高度で多様な専門歯科医療を提供 “参加型臨床実習”の場として学生たちも活用

reporter: 有床義歯補綴学講座 大久保力廣教授



キャンパス内にある歯学部附
属病院は、昭和45年に開院。1
日平均800～950名の患者さ
んが来院し、高度で多様な専門
歯科医療を提供する横浜で最大
の歯科総合病院です。保存科、
補綴科、口腔外科、矯正科、小
児歯科など、ほぼすべての歯科
診療科のほか、ドライマウスや
口臭、白い歯、いびきなどの専
門外来も開設して、患者さんの

お口の悩みに対応しています。
また内科や眼科、循環器科と
いった医科領域の診療科を設
置。口腔と全身医療の融合を図
り、医歯連携によるチーム医療
を実践しています。

平成13年には、国から歯学
部附属病院としては全国初の開
放型病院の認可を受けました。
今は地域で開業する歯科医さん
が、治療の難しい患者さんを連

れて来院し、病院スタッフと協
同で診療に当たっています。ま
さに地域に開かれた“歯科医療
の砦”と言ってよいでしょう。

附属病院では、歯学部の学生
が実際に患者さんを受け持ち、
生きた臨床実習も行います。全
国の多くの歯科大が、見学の
みの実習しか行わない中で、こ
の「診療参加型臨床実習」は、本
学の大きな特色の一つです。

学食(大学食堂)

仲間と一緒にの食事は最高おいしい 学生に嬉しい格安「100円朝食」サービス

reporter: 歯学部歯学科2年 小林寛貴さん
出身高校: 大阪府 金光大阪高等学校



記念館の中にある大学食堂は、大
きなガラス窓を通して外から光が
燦々と差し込み、明るく、広々とし
ています。学食はメニューが豊富
で、毎日、いろいろな物を安く食べ
ることができます。ご飯物や麺類だ

けでなく、パンやペーグルなども、
とってもおいしいですよ。

食事は一人で食べるより、学食
で友人たちとおしゃべりしながら
食べた方が、断然おいしい。他学
部の学生たちと隣り合えば、違う

世界の話がいろいろ聞けて、これ
また面白い。そうしたことも学食
の大きな楽しみの一つです。

さらに特筆すべきは、学食が実
施している「100円朝食」という格
安サービス。この朝食を目標に

大学に行くと、朝早い1時限目の授
業に遅刻しなくて済むというメリッ
トもあり、まさに“一石二鳥”です。

学食は、いわば大学時代の期間限
定の味。卒業して社会に巣立ってし
まえば、なかなか食べる機会があり
ません。大学にいる間に、もっとも
っと仲間と一緒に利用して、キャン
パスで青春の血をたぎらせた若き日
の思い出の味として、いつまでも心
に残しておきたいですね。

大学図書館

蔵書80万冊、本学自慢の“知の宝庫” 保育科の“聖地”絵本コーナーで ゆったりのんびり

reporter: 短期大学部保育科 松本和美教授



鶴見大学図書館は、「2017年版大学ランキング」（朝日新聞出版）図書館部門で、762校中第6位に入りました。蔵書数80万、1万冊に及ぶ古今東西の貴重書なども備え、質・量ともに本学が誇る“知の宝庫”です。

大学の中でも、この図書館と特に関係が深いのが保育科です。2階のガラスで囲まれた絵本コーナーには、最新版の絵本や紙芝居などが1万点近くもそろい、保育実習に行く前の学生たちが、下準備のために足繁く通います。

実習に出かけている学生が、「翌日の読み聞かせの絵本を選ぶために、急ぎ大学図書館に戻ってくる」という話を聞いて、正直びっくりしたこともありましたが。保育科の学生にとって、絵本コーナ

ーはそれほど大切に、“聖地”のような場所なのでしょう。

実習で使いたい絵本は、同じものが数冊単位でそろっているため、「貸出中のため、ただ今品切れ」という状態はほとんどありません。購入希望の絵本がある時は、すぐにリクエストをすれば、実習までには入荷します。

また、絵本と紙芝居の貸出期間は1カ月と長期です。そのため、実習途中での返却を心配することなく、保育園や幼稚園などでの実習に打ち込めます。

絵本コーナーでは、読み聞かせ用の本を、対象児の年齢に応じて色分けし、一目で分かるようにしてあるなど、学生たちが利用しやすい工夫が満載です。ぜひ一度、ここで絵本を手に取り、ゆったりと子ども気分を味わってみてください。



課外活動

学部・学科の枠を超えて新たな 出会いと交流の輪が広がる

reporter: 文学部日本文学科3年 赤池珠巳さん
出身高校: 静岡県 富士宮東高等学校



鶴見大学には、文化系、体育系のクラブやサークルが数多くあり、課外活動が盛んです。大学生活をよりエンジョイするために、皆さんも是非、課外活動に参加してみたいかがででしょうか。

今、私は欲張って「コンピュータ部」と「少林寺拳法部」の二つのサークルに加入しています。片方が文化系、もう一方が体育系で、サークルの性格や、そこに集う部員たちのタイプも大きく異なりますが、それぞれに居心地が良く、心から楽しんでいます。クラブ・サークル活動の一番の魅力は、学部や学科の枠を超えた、幅広い学生たちとの新たな出会いと交流で

す。授業に出るだけの毎日では、交友関係も同じクラスの仲間に限られがちになり、どうしても世界が狭くなってしまいます。しかし、課外活動に参加すると、同じキャンパスに学びながら、顔も知らなかった他の学部・学科の多くの仲間たちと出会い、新たな世界が広がります。

大学という小さなコミュニティの中の、さらに小さなコミュニティ。それがクラブやサークルです。授業やアルバイトで精一杯という方もいるでしょう。でも、できることなら是非、課外活動にも一歩、足を踏み入れてみて欲しい。自分の視野を広げる大きなきっかけになるかもしれませんよ。

短期大学部・保育科

授業はどれも魅力一杯 面倒見が良く頼りになる先生方

reporter: 短期大学部保育科2年 青木笑夏さん
出身高校: 神奈川県 鶴沼高等学校



私が学んでいるのは、短期大学部の保育科。初めに先生方の話をしましょう。

保育科の先生方は、とても面倒見が良く、学生一人ひとりのことを真剣に考えてくださいます。どんなに些細な悩みにも、親身になって相談に乗ってくださるので、私たち学生は先生方をとても頼りにしていますし、心から感謝しています。

保育科の授業は、保育の現場に即した実践的なものが多く、子供が大好きな私には興味津々。内容が濃くて、面白く、つつい引き込まれてしまいます。

その中でも、一番印象に残っているのが、「身体表現」という授業です。お遊戯のダンスを実践的に学べるこの授業では、お遊戯を身

体や表情で表現することの難しさと面白さを学びました。

試験はお遊戯のダンスを15曲覚えて、クラス全員で踊るというものでしたが、試験前にクラス一丸となって猛練習を重ねた結果、見事にクリア。感動したのを覚えています。

保育科の授業は、どれも将来につながる学びを得ることができ、とても魅力的です。



隠れた名店「肉とワイン Yayen Grill」

おいしいグリル料理にワインやビール… ランチタイムのステーキ丼は とくに絶品

reporter: 文学部英語英米文学科 宮下治政准教授



お肉好きな方のために、鶴見の隠れた名店を紹介しましょう。その名も「肉とワイン Yayen Grill」。JR鶴見駅西口から徒歩1分のところに、平成27年に開店したばかりの本格グリル料理のお店です。グリル料理のほか、世界のワインやビールも楽しめる、近年人気のワインバル。

お昼時にはランチ(午前11時30分~午後3時)も提供しています。お店一番のおすすめメニューは、ローストビーフ丼。しかしながら、私に言わせてもらえば、ステーキ

丼の方が絶品です。1150円(税込)と少々、値は張りますが、ニンニクの利いた甘辛ソースがほどよく絡んだ、ボリューム満点のステーキとホカホカご飯の組み合わせは、一度食べたら病みつきになること間違いなしです。

店員さんの接客態度やお店の雰囲気も非の打ち所がなく、女性がおひとりで利用されている光景もよく見かけます。皆さんもお小遣いを貯めて、たまにはちょっと贅沢でお洒落なランチを堪能してみたいかがでしょうか。



肉とワイン Yayen Grill
〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町
17-3 新橋ビル1-B

COME ON, NEWFACE!

新入生歓迎オリエンテーション

実り大きい学生生活のために。 公認課外活動各団体がアピール

入学式から1週間を経た4月9日(土)、新入生に本学の課外活動を紹介し、参加を呼びかける「新入生歓迎オリエンテーション」が開催された。新入生歓迎オリエンテーションは今年から、例年行われていた5号館の大教室から記念館地下2階の記念ホールに会場を移し、課外活動公認団体連合会の運営で行われた。



(上)期待に胸を膨らませて記念館ロビーに集まった新入生
(下)会場の外では先輩が新入生を勧誘



いくつかの部は、記念ホールの大画面を生かして映像で紹介(写真はラグビー部)



(上)いろいろな種目を実演した競技ダンス部(中)互割りの実演をしてアピールした空手道部(下)1号館の各団体のブースでは写真やPCを使って懸命の説明

会場の記念ホール前のロビーには開始30分前から、新しい学生生活に胸を膨らませた新入生が集まり、開場を待った。

冒頭、「皆さんの年齢でないといけないこと、一つは一生懸命取り組むこと、集中力です。こういうことをやりたい。仲間を作り、一生懸命やれることを見つけてほしい」と藤彰副学長。続いて「学生の本分は学ぶことですが、机の上だけでなく、課外活動を通して勉強してほしい。一つのことを一生懸命やること、学ぶことは、一生の糧になるでしょう。実りあるということを各自で考えて、明るい大学生活にしてほしい」と早川徹全学学生委員長があいさつ。学生ボランティアチームの紹介、課外活動公認団体連合会会長のあいさつ、紫雲祭実行委員会の紹介に続いて、各団体は実際にパフォーマンスを行ったり、活動の様子をスクリーンに

映像で映し出すなどそれぞれに趣向を凝らし、活動の内容を発表した。さらに軽音楽2団体は紹介の後5号館でライブを行い、力のこもった演奏で新入生にアピールした。

1号館の各教室には各団体のブースが設けられ、学生への個別説明が行われた。各団体の発表を見た新入生は希望する団体を絞り込み、それぞれのブースで真剣に先輩の説明に耳を傾ける。活動日、活動時間、活動内容、高校時代の経験や、アルバイトとの両立、授業や実習との兼ね合い、試験時の勉強法まで、大学での生活全般にわたるさまざまな質問が行き交い、勧誘する部員はそれに答える。

この催しを主催した課外活動公認団体連合会の会長、井田麻裕美さん(文学部英語英米文学科2年)に新入生を迎える先輩部員の思いを聞いた。

「新入生がいい団体と巡り会っ

てほしいと考え、この催しを準備してきました。私はだんすぶと地域貢献ボランティアサークルに入っています。だんすぶは紫雲祭での発表を目指して練習し、ボランティアでは地元鶴見でも知らない場所やお店など、街のことが改めて分かり、地元の皆さんとも接する機会がありました。課外活動団体に入ると、授業以外に熱中できるものが必ずあります。先輩に授業の話聞くこともできるし、先輩後輩と大学生活のノウハウを共有することもできます。また、他大学や外部の方と接点を生まれ、いろいろな経験ができます。今日、先輩と話したことはきっと何かの役に立つでしょう」

先輩の熱い思いはどこまで新入生に届いたのだろうか。充実した学生生活を過ごすために、新入生はそれぞれ真剣なまなざしで一生懸命になれる団体を探した。

参加団体一覧

合唱部、ESS、軟式野球部、空手道部、日本拳法部、陸上競技部、漫画研究会、茶道部、ゴルフ部、スキー部、バドミントン部(文学部)、バドミントン部(歯学部)、アパレル同好会、自然愛好会、水泳同好会、バレーボール部、映画研究会、少林寺拳法部、フットサル部、地域貢献ボランティアサークル、図書館研究会、鶴見シューティングクラブ、剣道部、管弦楽団、演劇部、硬式庭球部、基礎体力増進会、ラグビー部、バスケットボール部、サッカー部(文学部)、サッカー部(歯学部)、ポップス研究会、アメリカンフットボール部、ヨット部、美術部、考古学研究会、文芸部、卓球部、コンピュータ部、軽音楽フォークギター部、写真部、生物部、硬式野球部(文学部)、硬式野球部(歯学部)、フィットネス部、国際対口腔がんボランティア協力隊、吹奏楽部、書道部、柔道部、天文部、だんすぶ、ソフトテニス部、歯科医療研究会、JAZZ研究会、ダーツ同好会、手話サークルJSL、将棋同好会、競技ダンス部、弓道部(登場順)

Welcome!

留学生

韓国外国語大学

ジョウ・ジウンさん(日本語学科4年・写真左)

イー・ドンギュさん(日本語学科3年・写真右)

イ・イエピンさん(日本語通訳翻訳学科3年・写真中央)

それぞれのきっかけ

4月から半年間、韓国外国語大学校日本語学科4年のジョウ・ジウンさん、同3年のイー・ドンギュさん、日本語通訳翻訳学科3年のイ・イエピンさんの3人の留学生が本学で学ぶ。

日本語を学ぶきっかけの異なる3人。ジョウさんは理系大学卒業後、社会で日本語を学ぶ必要性を感じ、韓国外国語大学に入学した。留学で日本語を磨き、将来は「日本の大学院で機械工学や電子工学を学びたい」と抱負を語る。外国の言語に興味があったイーさんは「高校時代、人気があったJポップや野球への関心」から第二外国語に日本語を選んだ。大学ではプログラミングを専攻。留学先に本学を選んだ理由は、先輩の推薦とドキュメンテーション学科の授業。「日本人がプログラムやアルゴリズムをどう考えているかを知りたいです」

「テレビで見た『花より団子』の日本版から嵐の大ファンになり、日本語に興味を持ちました」。文化コンテンツも専攻するイさんは、

コンサートや番組などのコンテンツから哲学へも広い領域を学ぶ。「語学として日本語を学ぶと漢字の読み方が難しいですね」

ジョウさんは「鶴見大学は他の国からの交換学生が多くないので日本語に集中できます。立地もいいし、總持寺境内の環境や独自の教育理念にも興味があります」と本学を留学先に選んだ理由を語る。

気軽に話し掛けて

「授業で面白いのは法学ですが、公文書の作成が学べる『キャリアスキル演習Ⅰ』や、社会で活躍する人の講義が受けられる『キャリアスキル演習Ⅲ』に期待します」とジョウさん。「出来事の暗記ではなく、歴史的な意味を考える日本史の授業はこの大学でなければ学べないと思いました。韓国と日本の歴史観の違いを考え、偏りがないように学びたい」とイーさんは考えます。

『日本語史』は歴史に沿った日本語の変化や地域や男性語、女性語の違いも面白いです」とイさん。それぞれ授業に手応えを感じてい



る。「本当に考える授業が多いです」とジョウさんは付け加える。

滞在中にコンビニエンスストアでアルバイトをして日本流の接客マニュアルを身につけたいというイーさんは将来、日本の企業への就職が目標。「休日は山手線の主要駅を回る」イさんは両国の橋渡しになれるように「いろいろな文化を学びたい」

「急に話し掛けても驚かないでください」とイーさん。「韓国語を学びたい人がいたら、声を掛けてください」とジョウさん。「Kポップや韓国のアイドルの最新情報なららせてください」と、イさん。キャンパスで見かけたら声を掛けよう。

子供たちの笑顔が「継続」する原動力 ～春季活動報告、そして新入生へのメッセージ～

学生ボランティア活動報告

鶴見大学学生ボランティアチームは、東日本大震災で被害を受けた宮城県気仙沼市で学習支援ボランティア活動(通称:学びーば)を2011年夏から現在まで継続的に実施させて頂き、お陰様で2016年春の活動で第12回目を迎えました。

今回の第12回目の活動は2016年3月24日～27日まで大谷小学校のご協力のもと、校舎の向かい側にある大谷公民館で実施しました。いつもは小学校校舎内で実施していますが今回は公民館を貸切での開催です。しかし、会場が変わっても内容には変わりありません。机上の学習はもちろんですが、イベントも盛り込みました。学習面では私達の手作り教材や児童が持参する春休み中の宿題と一緒に解きました。学習の時間では分からない問題を積極的に鶴見大学学生ボランティアチームのお兄さん、お姉さんに質問する姿が見られました。今回のイベントでは「こなごな磁石の不思議」と「かるたを作ろう!」の2つの企画を実施しました。「こなごな磁石の不思議」では身近にある磁石を用いて磁石の性質を説明したうえで簡単な実験を行い、特に低学年には磁石にどのような材料がくっつくかを予想してもらいました。「かるたを作ろう!」の企画ではかるたを作るところから携わり、最後は皆が

作ったかるたを使って「かるた大会」を開きました。

活動に参加した学生・教員は併せて延べ100人です。学生は学部学科を問わず参加しています。なお、今回の活動も横浜創英大学、東京都市大学と連携して企画・運営を行いました。また、今回の活動は地元新聞である河北新報、三陸新報、そして気仙沼ケーブルテレビの取材を受けました。取材の翌日には新聞やテレビで気仙沼市内に本学の活動が紹介されました。

私たちの活動は「被災地に何かしたい」という想いのもと、震災ボランティア活動として2011年夏に始まりました。しかし、震災から5年を迎え最近では、その想いに加えて子供たちの「笑顔」や「また来てね!」という言葉が活動を継続する原動力になっていると感じています。参加した学生からも、「子供たちの笑顔が私たちが気仙沼へ行かせてくれます」との声があります。そして、団体行動を通しての協調性や社会性を養うこと、コミュニケーション能力の向上といったボランティア活動に参加して得られたことも参加した学生側には多



「つるみん」と集合写真!

いと感じております。

東日本大震災という未曾有の事態を経験した子供たちですが、これを機に参加した「学びーば」が子供の頃の楽しい思い出の1つになればと願っております。鶴見大学の東北地方における活動を今後も継続して実施させて頂きたいと思っています。

次回は2016年夏に気仙沼で活動する予定です。少しでも興味を持って頂けた方は学生支援センター(1号館1階)にお声かけください。毎週、水曜日に定例会議を実施しています。学部学科学年は問いません。皆様の見学を心よりお待ち申し上げます。宜しく願い申し上げます。

□顎顎顔面放射線・画像診断学講座 大藏真太郎

国際的にも高く評価される ドライマウスや抗加齢医学の研究・治療



るのではなく、臨床に反映されてこそ、医学研究です」と齋藤教授は語る。

国際的な学術誌に論文発表

「やりたいことと、できることと、社会が求めていること、三位一体となってマッチしていなければ、研究室は活性化しません。やりたくても、できなければ夢で終わります」

その研究成果は、研究室前の壁にところ狭しと貼られた論文に表れている。

「研究結果は英語で論文を書いて国際的な学術誌に発表します。地球上では英語を使う人口が一番多く、多くの人々に批判されてこそ、その評価がわかります」

病理学講座からは12年間に4人の教授が生まれ、現在各大学で活躍している。そこからも学外の評価がわかる。

病理学は幅広い領域と関わりを持つだけに、スタッフも理学部や工学部出身者など、さまざまな分野に及ぶ。

「出身や専門領域も含めて、さまざまな人たちがいろいろな意見を出し合うことが、研究には一番大事なことです」

研究室が重視するのは考え方だ。「どんな立派な技術や知見も5年、10年も過ぎれば、色あせませんが、ものごとの考え方、対処の仕方は普遍的に通用します。ゴールを自分で選択しても、そこに到達するための戦術と戦略が稚拙なら、達成できません」

目標を明確にし、その具現化を、研究を介して実践する。

「教育は大切です。学生は夢を持って大学に入学しますが、その夢を叶える手段を提供するのが、大学の教員の役割です。それを教育、研究、臨床に反映させたいと考えています」

齋藤教授の現在の関心は超高齢化社会やストレス社会における歯科医療・医学の役割にある。最近、「幸せを引き寄せる笑顔の法則」という一般書を上梓した。

「動物や細胞を使う実験の成果とともに、口の役割を広く社会に周知したいと考えており、これまでの基礎研究の成果から理論を裏付けることで、社会に発信していきたい」

マスメディアや講演会からの要請も多い。

「講演のお招きをいただくことから、社会のニーズを感じます。皆さんのためになったと言われるとうれしいですね」



日夜、研究が進められる病理学講座の研究室。さまざまな分野にわたるスタッフがそれぞれの技術や経験を生かして研究にあたる

教育・研究・臨床の視点から

病気の成り立ちや症状、その診断の方法を学ぶ病理学は、医療に携わる人全てが必要不可欠な知識として習得しなければならない分野である。齋藤一郎教授は「歯学部でも講義や実習では口の中だけに限らず、全身の疾患全てにわたって取り組んでいます」と病理学講座の教育を語る。

最先端医学の進歩に伴い、病理学で扱うさまざまな疾患概念が急速に変化し、病理学教育は従来の教科書では対応できないといわれる。さらに自然科学における技術の進歩により、病理学は免疫学、分子生物学、遺伝学、発生学など、多彩な領域を統合した学問として再構築されつつある。病理学講座では、こうした最先端の生命科学動向をとらえながら、歯学教育を進めている。

研究では難治性疾患の基礎研究から再生医療への応用、さらに抗加齢医学への展開まで、領域・分野、基礎、臨床の枠を超えた研究を実践している。

自己免疫疾患の一つであるシェーグレン症候群は涙腺・唾液腺など、外分泌腺が破壊を生じ、症状は全身に及ぶ。口腔内の乾燥は、不快感、口臭、うまくものが食べられない、味がしない、虫歯や歯周病になりやすいなど、口の機能を低下させ、毎日の生活の質を落とす。

病理学講座ではこれらの疾患の発症機構についての病因の解明と、診断法、治療法を開発し、多くの論文を発表してきた。さらに、疾患や障害で喪失した組織を人為的に構築し、機能の回復を目的とした自己組織再生などの治療法、再生医療への応用に取り組んでいる。

口腔との関わりが深い抗加齢医学

また、急速に進む少子高齢化の中で、老化による心身の衰えを防ぎ、生活の質を高く保ちながら社会的な生産性を維持することを目的とした抗加齢（アンチエイジング）医学の普及が求められている。口腔が全身の健康に深く関わり、また、歯の喪失、歯周病、口臭、味覚障害、口腔乾燥症など、口から老化を自覚することは多いことから、歯科医療・医学は抗加齢医学の最前線にある。病理学講座では人の本来の寿命にできるだけ近づき、できる限り健康に、機能を落とさず、明るく楽しく生きるための抗加齢医療を進めている。

これらの研究成果を生かす臨床の場が、鶴見大学歯学部附属病院である。2002年に開設された国内初のドライマウス外来には6500人を超える初診患者が来院。また、07年に開設されたアンチエイジング外来では、口腔と共に全身の老化度を把握し、運動指導、栄養指導、ライフスタイル提案を行う。

「研究で得た知見を臨床に還元することはとても重要です。研究活動と論文発表で終わ



研究室前の壁に貼られた病理学講座が発表した論文の数々。誰もが閲覧できるようにクリアファイルに収められている。各論文の中央にある手書きの英文が掲載された科学雑誌名



就職 EXPRESS



就職活動年間スケジュール

※下記スケジュールの日程は、変更になることがあります。

文学部

3年生
4月 ●年度始めオリエンテーション ●教員採用試験説明会
5月 ●就職ガイダンス① ●司書志望者採用試験対策講座 ●教員採用模擬試験
6月 ●SPI対策講座Ⅰ ●教員志望者特別講座
7月 ●筆記試験対策講座受講説明会
9月 ●就職ガイダンス② ●SPI対策講座Ⅱ ●筆記試験対策講座(企業コース)
10月 ●筆記試験対策講座 ●就活リクルートみだしなみ講座 ●企業就職特別講座
11月 ●内定者による就職活動体験報告会 ●面接対策講座(第1回) ●就職活動履歴書写真撮影 ●SPI対策講座Ⅲ ●就職ガイダンス③(履歴書・エントリーシートの書き方) ●進路(就職)登録カード提出 ●仕事の見つけ方講座
12月 ●業界職種研究講座 ●保護者向け就職説明会 ●筆記試験対策講座(公務員コース開始)
2017
1月 ●企業人事担当者による集団模擬面接 ●就職ガイダンス④ ●グループディスカッション講座
2月 ●特別ガイダンス
3月 ●第1回学内合同企業説明会

4年生
4月 ●年度始めオリエンテーション
5月 ●第2回学内合同企業説明会
7月 ●第3回学内合同企業説明会
9月 ●第4回学内合同企業説明会
10月 ●第5回学内合同企業説明会

短期大学部

保育科
1年生
4月 ●年度始めオリエンテーション
10月 ●就職ガイダンス① ●進路(就職)希望調査(第1回)
12月 ●就職ガイダンス② ●保育士就職模擬試験 ●短大用就職模擬試験(一般常識テスト・作文)
2017
1月 ●就職ガイダンス③(就職内定報告会)

2年生
4月 ●年度始めオリエンテーション ●企業就職者向けガイダンス
5月 ●保育士就職模擬試験・幼稚園教諭専門試験 ●保育士作文模擬試験 ●就職活動対策講座 ●就職活動履歴書写真撮影 ●公務員試験受験対策講座①
6月 ●就職ガイダンス④
7月 ●就職ガイダンス⑤ ●進路(就職)希望調査(第2回) ●公務員試験受験対策講座②
8月 ●履歴書書き方講座 ●個人面談・履歴書個別指導開始
9月 ●就職ガイダンス⑥(最終回) ●進路(就職)希望調査(第3回・最終) ●公務員試験受験対策講座③
12月 ●内定者ガイダンス

歯科衛生科
1・2年生
4月 ●年度初めオリエンテーション ●一般常識テスト模擬試験(第1回) ●就職作文添削(第1回)
10月 ●一般常識テスト模擬試験(第2回) ●公務員試験対策講座 ●就職作文添削(第2回)

3年生
4月 ●年度初めオリエンテーション ●一般常識テスト模擬試験(第1回) ●就職作文添削(第1回) ●「人生と職業」(授業)
5月 ●「人生と職業」(授業) ●歯科衛生士特別講座 ●各種模擬試験開始
6月 ●「人生と職業」(授業) ●歯科衛生士特別講座
9月 ●就職活動用及び国家試験履歴書写真撮影
10月 ●公務員試験対策講座 ●就職ガイダンス ●履歴書の書き方講座 ●求人票公開・就職活動開始 ●就職面接対策マナー講座 ●一般常識テスト模擬試験(第2回) ●就職作文添削(第2回)

※3年生開講の「人生と職業」はキャリア・就職支援の教科で必修科目です。

4年生の就職活動はあきらめず、ねばり強く!

キャリア支援課は皆さんを全力でサポートします。最新の求人情報の提供や、内定を勝ち取るためのアドバイスをしますので、積極的にキャリア支援課を活用してください。採用試験を受けた方は、その結果を必ずキャリア支援課へ報告してください。



キャリアアドバイザーが相談に応じます!

キャリア支援課にはキャリアアドバイザーを配置しており、就職相談はもちろん、将来の「なりたい自分」について一緒に考えます。早い時期から「なりたい自分」を見つけることは学生生活や就職活動をより有意義なものにします。学年は問いませんので、ぜひ相談に来てください。皆さんの進路・就職を全力で応援します!

3年生が今やるべき就職活動の準備

就職活動は早くからスタートを

「なぜ就職するのか?」就職したい理由や就職に対する考えを、一度整理しておきましょう。

内定のカギを握る就職活動のポイントを紹介します。

- キャリア支援課とコミュニケーションをとろう
キャリア支援課を積極的に活用することで、志望業界などの情報や、各種求人情報を得ることができ、就職活動を有利にすすめることができます。もちろん、家族とのコミュニケーションも忘れずに!
- 必ず掲示板で確認しよう!
掲示板(1号館1階)には就職ガイダンスなどの情報が掲示してあります。見落としのないようにしっかり確認しましょう。
- ガイダンスや就職特別講座には必ず出席しよう
外部講師や内定を獲得した先輩から、就職状況や就活体験談などを聞けるチャンス。就職への意識高揚と準備のために、必ず出席しましょう。
- 夏休みを有意義に使う
インターンシップや夏休みにしかできない旅行・ボランティア活動など、積極的に取り組みましょう。自分を見つめ直す機会となり、自身の成長につながるだけでなく、面接試験時のアピールポイントにもなります。



COVER MODEL

短期大学部 歯科衛生科2年生

河田 里緒さん

出身高校: 神奈川県 港北高等学校

今回、CampusNOWの表紙モデルに登場させていただくにあたり、はじめはプロのカメラマンの方に撮られるということに慣れておらず、不安もありました。しかし、いざ撮影が始まると撮影スタッフの皆様のご協力もあり、無事に撮影を終えることができました。短い時間ではありましたが、貴重な経験をさせていただき、有難うございました。



大学からのお知らせ

保健センターより

学生定期健康診断未受診の学生へ

定期健康診断を受診していない人は、必ず保健センターへ申し出て下さい。

卒煙(禁煙)教室について

保健センターでは、歯学部附属病院内科卒煙外来と連携し、卒煙教室を開催しています。たばこをやめたい学生には無料で禁煙パッチを配布しますので、是非参加してください。たばこの煙に含まれる有害物質である一酸化炭素量も測定できますので利用してください。

健康・メンタル相談について

医師、看護師、臨床心理士が健康・メンタル相談に応じています。気軽に利用してください。

父母会総会・教育懇談会等のお知らせ

今年度の父母会総会は、下記の日程で開催いたします。開催の御案内は、別途往復葉書にて郵送いたしますので、出席の有無を返信用葉書にて6月17日までに御返送ください。

日時：7月2日(土)午後1時より

場所：本学記念館地下2階記念ホール

議題：平成27年度決算報告

平成28年度予算審議

並びに役員改選等

※父母会総会終了後は、各学科に分かれて教員との教育懇談会・個人面談・歯学部鶴真会総会等の諸行事を開催いたします。

なお、文学部・短期大学部の保護者の方を対象として、当日の午後12時15分より就職説明会を開催し、教育懇談会終了後には、個別就職相談会を開催いたします。

精霊祭のお知らせ

来る7月1日(金)午前11時から、精霊祭が大本山總持寺大祖堂で行われます。この精霊祭では学園関係物故者の御霊のご冥福を祈り、例年、多くのご遺族、教職員及び学生が参列し、焼香を行います。本学発展のためにご尽力された方々への哀悼の意を表すために、ご参列ください。

鶴見大学仏教文化研究所・大本山總持寺宝蔵館「嫡々庵」(共催)
平成28年度 鶴見大学仏教文化研究所
公開シンポジウム

「曹洞宗の文化財」

日時：平成28年6月11日(土)13:30～16:30

会場：鶴見大学会館地下1階メインホール

①基調講演

薄井和男(神奈川県立歴史博物館館長)

「能登總持寺祖院観音菩薩像と永光寺瑩山紹瑾禅師像」

②講演

尾崎正善(鶴見大学仏教文化研究所客員研究員)

「宝物殿開館記念、二つの展示会—横尾忠則個展と總持寺秘宝展—」

遠藤ゆかり(大本山總持寺宝蔵館「嫡々庵」学芸員)

「宝蔵館嫡々庵のこと—課題と将来について—」

室瀬祐(鶴見大学仏教文化研究所兼任研究員)

「三橋鎌岳作・獅子牡丹唐草彫木前机と近代の鎌倉彫について」

教育振興支援寄附金募集

鶴見大学は、建学の精神「大覚円成 報恩行持」にもとづき、宗教的信念のある有為の人材を育成する教育をおこなっており、学生のキャリア活動の支援、学内外におけるボランティア活動や課外活動の支援など、学生が直接社会と関わる中で、感謝や奉仕の心を学ぶ教育活動に供することを目的として「鶴見大学教育振興支援寄附金」を募集しています。この趣旨にご賛同いただき、多くの皆様に特段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

◎お問い合わせ先

鶴見大学総務部総務課

電話 045(574)8608 FAX 045(574)8688

学内ルールを守りましょう



携帯電話
マナーを
守りましょう



喫煙は
決められた
場所です



全学科同時開催・申込不要・入退場自由

受験生と保護者の皆様を対象とした「オープンキャンパス」を開催いたします。皆様をお誘い合わせのうえ、どうぞ奮ってご参加ください!



※7月24日より、平成29年度募集要項(願書)を無料配布いたします。また、大学案内パンフレット・平成28年度入試問題(縮刷版)も無料配布いたします。

- 5月29日(日) 13:00～16:00 (15:00受付終了)
- 6月26日(日) 13:00～16:00 (15:00受付終了)
- 7月24日(日) 10:00～15:00 (14:00受付終了)
- 8月7日(日) 10:00～15:00 (14:00受付終了)
- 8月27日(土) 10:00～15:00 (14:00受付終了)
- 9月11日(日) 13:00～16:00 (15:00受付終了)

歯学部一日体験入学 **要申込**

7月28日(木) 8月27日(土)

8月27日は、オープンキャンパスと同時開催となります。歯学部ご希望の方は「歯学部一日体験入学」への参加となりますので、事前の申込が必要です。

実施内容

- 学科紹介・入試説明
- 短期大学部AO入試説明会
短期大学部AO入試の受験を希望する方は、当説明会への参加が必要です。
- 模擬授業 ● 個別相談
- 学科別体験コーナー
- キャンパスツアー
- スタンプラリー
- 教員・司書・学芸員をめざす説明会
- 出願直前ワンポイント講座(9月11日限定)
- 学食体験(7月・8月限定)
- 小論文・面接講座(7月24日・8月7日限定)
- クラブ・サークル紹介(8月7日限定)
- 女子学生寮見学ツアー(7月・8月限定)
- オープンキャンパス特別講演(7月24日限定)
- 鶴見大学のキャリアサポートについて(8月27日限定)
- 短大部卒業生の就活体験談(8月27日限定)など

横浜



鶴見大学

鶴見大学短期大学部

Tsurumi University Tsurumi Junior College

ホームページURL <http://www.tsurumi-u.ac.jp>

携帯用サイトURL <http://i.tsurumi-u.ac.jp>



各種お問い合わせ先

- 成績・各種届出・学生生活・学納金について 文学部教学課 ☎045-580-8212
- 短期大学部教学課 ☎045-580-8215
- 歯学部教学課 ☎045-580-8203
- 奨学金について 学生支援センター ☎045-580-8217
- 進路(就職)について キャリア支援課 ☎045-580-8225
- 入試について 入試課 ☎045-580-8219
- 健康に関すること・健康診断について 保健センター ☎045-580-8283
- 歯学部附属病院に関するお問い合わせ ☎045-580-8503
- 初診のお問い合わせ 初診科 ☎045-580-8540
- 広報について 総務課 ☎045-574-8627